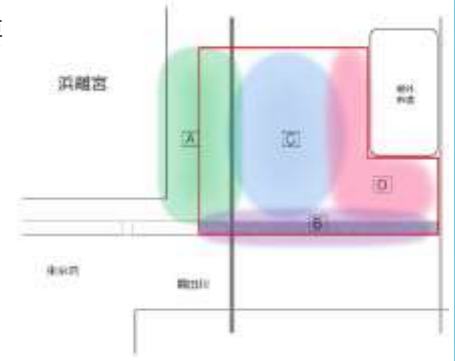


■導入機能に関するキーワード（築地まちづくりの大きな視点）

- ・人が集まる**交流拠点**として、更なる**にぎわい**を生み出していく
- ・東京及び日本全体にとって**重要な役割**を担う
- ・東京に**不足しているものを補う**
- ・東京の**競争力の向上**に資する
- ・**新たな築地ブランド**を創出する
- ・環境技術など新しい技術の展開を見据える
- ・**水辺や緑を生かす**
- ・地域の**観光・文化資源等と連携**する
- ・**周辺地域との相乗効果や機能分担**
- ・**良質な公園や広場**などを適切に確保

■地域特性に関するキーワード（築地まちづくりの大きな視点）

- それぞれの長を生かすとともに**相互に関連**して、地区全体として**一体的に機能発揮**させることが重要
 - A 築地川沿いの**親水空間を生かし**、浜離宮恩賜庭園との一体性を考慮した**緑豊かな空間**とする
浜離宮恩賜庭園や水辺なども考慮したにぎわい施設なども適切に配置
 - B 隅田川沿いの親水空間を生かし、にぎわい、活性化に資する施設について積極的に検討
 - C 広域的観点から**東京の将来を担う機能を柔軟に導入**していく
地区全体が良質な空間となるうえで、主要な役割を果たすべき
 - D 築地本願寺から場外市場及び隅田川にかけての連続性や、旧居留地など**周辺地域とのつながりなどに配慮**した空間を形成
- エリア区分、範囲の設定については、周辺とのつながりを考慮しながら、**周辺の既存施設との連携や融合**を重視する
- 場所性や都心の大規模なまたとない土地の希少性に鑑み、長期的観点から、現在のみならず、将来の都民にとっての**新たな価値を創出**していくべきである。



■交通結節点の考え方（第1回築地まちづくり検討委員会資料より抜粋）

- 築地まちづくりの大きな視点における位置づけ
 - ・船着場を、さらに、地域の**にぎわい**を創出し、舟運ネットワークの要となるよう、整備、運用すべき
 - ・舟運、道路、バス、地下鉄などの広域性の高い交通インフラからなる交通結節点を戦略的に形成すべき
 - ・隅田川の舟運ネットワークを活用すれば、浅草や羽田空港などとの連携も可能
 - ・船着場との一体性や、効果的活用を考慮した、交通広場など、交通結節機能・防災機能を確保すべき

○交通結節点に係る関連計画（築地まちづくり検討委員会（第1回）資料より抜粋）

| 舟運ネットワーク |

隅田川沿いの水辺のにぎわい拠点としてターミナルの整備を検討

| 首都高速晴海線 |

平成5年に都市計画決定（築地市場内を通過し新大橋通りへの出入口を決定）

| 地下鉄新線構想 |

国交省交通政策審議会にて、国際競争力強化に資する鉄道ネットワークへの位置づけ



隅田川等における新たな水辺整備のあり方 (H26.2) より抜粋



東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）/H28.4.20より抜粋



導入機能の方向性

まとまった規模の土地を生かすゾーン

- まとまった規模の土地を生かし、恒常的に人々を惹きつける交流拠点のコアとなる機能を導入する。（例：エンターテインメント・文化、スポーツ、MICEなど）
- 防災機能、質の高いオープンスペースなども備えた複合的な都市機能の充実を図る。

インフラ整備等と連携した交通結節点を形成し、複合的な都市機能の充実を図るゾーン

- 防災船着場、首都高晴海線、地下鉄構想などの交通条件を生かしつつ、「まとまった規模の土地を生かすゾーン」に導入される機能とも連携する交通結節機能や防災機能を確保する。
- 周辺地域や他ゾーンとの機能分担を図り、相乗効果をもたらす開発により、東京の競争力強化に資する複合的な都市機能（例：商業、業務、研究開発、インキュベーション、文化、滞在機能等）の充実を図る。

23ha全体の価値を高めるため、複合的な都市機能の充実を図るゾーン

- 広幅員道路沿道という立地を生かし、他ゾーンの開発に合わせて、地区全体の価値の最大化を図るための土地利用を検討する。
- 周辺地域や他ゾーンとの機能分担を図り、相乗効果をもたらす開発により、東京の競争力強化に資する複合的な都市機能（例：商業、業務、研究開発、インキュベーション、文化、滞在機能等）の充実を図る。

水と緑の近接性を活かした利用を図るゾーン

- 築地川沿いの水辺空間や浜離宮恩賜庭園に隣接することを生かし、親水性に優れたにぎわい・交流施設の導入や緑豊かな質の高いオープンスペースの創出により、立地条件にふさわしい、憩いの場となる機能の充実を図る

隅田川との一体性を重視した利用を図るゾーン

- 船着場、テラス、スーパー堤防と後背地が一体となつてにぎわいを創出するとともに、水辺と陸をつなぐ結節点として、広域的な視点から、交流を促す機能の充実を図る。

